

# 米原歴史街道

## 米原市の歴史・文化財を歩く

147

### 縄文人の楽園・まいばら② ―琵琶湖岸の暮らし―

#### 各地から米原に集う縄文人

磯山城遺跡(磯)の発掘調査では、縄文時代全時期の土器が出土しました。中でも早期(約六千五百年前)の土器の一群は滋賀県下でも最古級のもので、また、早期終わりごろの埋葬施設から検出された二体の人骨は、県最古の縄文人です。このうち一体は、おおむねの状態、腰の部分から足をまっすぐに頭部まで曲げるといふ、全国的にも類例がない非常に珍しい屈葬の状態で見つかりました。調査では、明確な集落の跡を確認することができませんでしたが、湖畔の豊かな自然の幸をよりどころにして営まれた集落だと考えられます。各時期を通じて、東海・北陸・中部山岳地方の特徴をもつ土器や、石器の石材として大阪府二上山産のサヌカイト、岐阜県の下呂石、高根県隠岐島の黒曜石などが出土して、縄文時代の交易圏の広さが分かりました。

筑摩佃遺跡(朝妻筑摩)の調査では、現在の地面から約四メートル下で、縄文時代の沼(河川)の跡が見つかり、土器や石器がたくさん捨てられていました。その中心は中期(約五千年前)のもので、その半数が北陸地方を中心に分布する土器です。さらに、磯

山城遺跡と同じように、石材として二上山や香川県金山、北陸のサヌカイト、長野県霧ヶ峰・東京都小笠原諸島神津島産の黒曜石が出土し、縄文時代から米原が日本列島の東西交流の接点であったことが分かりました。最も注目される出土品に土偶(市指定文化財)があります。土偶は縄文時代だけに制作された祭祀用の土人形で、妊婦の姿が多く、安産や多産、さらに豊穡を願ったとも、災いをはねのけるための呪術に使用されたともいわれます。出土した土偶は、皿状の頭部と表情が河童に似ていることから「河童型土偶」と呼ばれます。富山県を中心に出土しているもので、北陸の土器が目立つことから、この土偶を祀る北陸の人々が米原へ移住してきた集落があったようです。

#### 琵琶湖を歩き交う丸木舟

入江内湖は、かつて東西二キロメートル、南北二・六キロメートル、周囲八キロメートルの琵琶湖で二番目に大きい内湖でしたが、戦中・戦後の食糧難対策のために昭和二十五年(一九五〇)に干拓されました。入江内湖遺跡は、縄文時代早期から平安時代までの大規模な複合遺跡です。もともと湖の底だ

つたことから水が酸素を遮断して、動物の骨や角、木などで作られた道具の酸化を防ぎ、多くの貴重な資料が出土しています。

「列島最古級の漆器碗」(縄文時代前期 中葉/約五千五百年前)は、トチノキをくりぬいた素地に、黒色顔料を混ぜた漆を塗り、赤色顔料(ベンガラ)を混ぜた漆で外面と内面の口の部分を飾っています。漆の精製や制作には高度な知識と技術、長い工程が必要で、縄文人の文化的水準の高さを物語ります。入江内湖遺跡からは五隻の丸木舟が出土しており、そのなかの一隻は、前期前半(約六千年前)のもので「全国最古級の丸木舟」です。モミの木で作った舟で、長さ五・四七メートル、幅〇・五メートルあります。中期末(約四千年前)の「関西最古級の釣針」はシカの角やイノシシの骨で作られています。新しい漁法として丸木舟に乗った釣り漁が導入され、食料となる魚の種類が増えたと考えられます。ちなみに「マグロの脊椎骨」が一点見つかっており、海岸地域との交換・交流で食料を入手していたことが分かります。内陸部でマグロ属の骨が見つかった最古級の例です。(歴史文化財保護課)



▲河童型土偶

### 消費生活相談コーナー

#### 楽しい夏休みを過ごすために!

パソコンやスマートフォンはとても便利なものですが、子どもたちが犯罪に巻き込まれることもあります。インターネットゲームでの高額課金やアイドル動画のワンクリック詐欺、SNSによる個人情報の漏洩、誹謗中傷などのトラブルになるおそれがあります。正しい知識を持ってルールを守り、夏休みを楽しく過ごしましょう。



#### 消費生活相談員より一言

見知らぬ人とは個人情報のやりとりをしないなど、パソコンやスマートフォンの使用ルールを決めたり、セキュリティーアプリなどの利用も検討してみましょう。

「おかしいな」と思ったら  
一人で悩まず、  
まずは消費生活相談窓口へ  
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(米原庁舎)

相談専用 ☎52-8088

〔受付〕平日9時30分~16時



### 【米原警察署情報】 問 米原警察署 ☎52-0110

#### 交通事故を起こさないために

##### 横断歩道は歩行者優先!

車を停止して、歩行者に道を譲りましょう。



##### 右左折するときは確実な安全確認を!

右折中は、直進してくる対向車や自転車、歩行者等に気付くのが遅れることもあります。落ちていく確実に安全確認をしましょう。左折時には、あらかじめ道路の左側に寄るなど、自転車や歩行者を巻き込まないように注意しましょう。

5月に大津市内で痛ましい交通事故が発生しました。このような事故が二度と起きないように、一人一人が安全確認・安全運転を心掛けましょう。



#### 令和元年市内交通事故数(5月末時点)

件数 42件(+2件)、死者 1人(+1人)

傷者 60人(+6人)

※( )内は前年比